

学校 教育 目標	【認め合う心・高め合う心をもって自分らしく生きる】 ○仲間と学び合い認め合い、高め合って自ら深めていく力を育む学校(知) ○心身の健康に関心をもち、自他の生命を尊重できる姿勢を育む学校(徳・体) ○豊かな人間関係をつくり、社会の一員として参画できる力を育む学校(公・開)					
	創立 44 周年	学校長 中野 瑞枝	副校長 田邊 洋一	3 学期制	一般学級：9	個別支援学級：2
学校 概要	児童生徒数： 286 人		主な関係校： 芹が谷小学校 芹が谷南小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	芹が谷中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> 自己肯定感、自尊感情 <生命の尊重> 共生・協働	芹が谷中学校 芹が谷小学校 芹が谷南小学校	発達段階に応じたコミュニケーション能力の伸長 「自分の思いを大切にし、相手のことを考えて伝える子」 ・ブロック合同授業研修及び研究協議会を行い、「学力観・指導観・評価観」を共有し、授業改善を通し子どもたちの学力向上を図る。・児童生徒交流の機会として授業見学や部活動体験コンサートなどを実施し、小学校から中学校への接続を円滑に進める。・3校の児童生徒代表が学校づくりについて話し合うとともに地域連携の中で意見交換を行い、挨拶運動等の取組を地域とともに広める。

中期 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな心をもって今を大切に生きる心を育てます。</li> <li>・互いの良さを認め合い、励まし合う温かい人間関係づくりを推進します。</li> <li>・生徒一人ひとりの思いが生かされ、充実感と所属感を味わえることが出来る生徒活動を推進します。</li> <li>○地域社会の一員としての自覚を高め持続可能な地域社会に参画する姿勢を育みます。</li> <li>・家庭や地域社会との連携・協働活動を通して開かれた学校づくりを推進します。</li> <li>○学習の基盤となる力の育成に努めます。</li> <li>・家庭と連携して望ましい学習習慣の確立を図り、基礎・基本的な知識及び技能の習得を図り、主体的に学習できる指導に努めます。</li> </ul>
----------------	---

重点取組分野		具体的取組
知	学習指導 授業改善	①授業のユニバーサルデザイン化・TT体制・個別学習支援を実施し、基礎・基本の知識及び技能の定着を図り、主体的に学習できる指導に努めます。②横浜市学力学習状況調査の分析結果を基に職員間で共通理解を図る。また、学期毎に生徒による授業評価を実施して授業改善を図ります。
徳	人権教育の推進	○学校行事や学級活動での他者とのかかわりの中で、自分を見つめ、他者と認め合うことで、自己肯定感を高め、たくましく、しなやかな心の育成を図ります。○生徒の実態をもとに、教科書や道徳教材を活用し、自分の考えを伝えたり伝え合ったりする授業を行い、コミュニケーション能力を高めます。
体	保健・安全教育	○生徒や保護者に必要な情報を発信し、生徒が自ら考え、健康の保持や増進を進める意識を養うように指導を行います。○保健体育の授業にて、体力増進についての知識の習得や、生徒自身が自分の体力や技術の向上を確認しながら進められるよう努めます。
公 開	地域連携・SDGs	地域行事や地区懇談会・地域防災訓練などに生徒が参加し、学校と地域のつながりを深めるよう努めます。あいさつ運動や花植えなどを通して、学校と地域の交流を深めるよう、連携して取り組みます。地域の一員として廃油回収やボランティア活動などで、地域に貢献できる生徒の育成に努めます。
いじめ防止対策		休み時間の見守りや教育相談・いじめ防止アンケートなどを通して、いじめの早期発見に努めます。いじめを認知したときは、早急に対策委員会を行い、解決や再発防止に取り組みます。いじめ対策防止委員会を定期的に関き、情報交換と経過観察に取り組みます。
特別支援教育		特別支援連絡会が中心となり生徒の実情や適切な支援方法を全職員で共有し、授業や教室環境等ユニバーサルデザインを取り入れ、生徒一人ひとりの個性を尊重し能力を伸ばします。保護者・関係機関等との連携による「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」に基づききめ細かな支援を継続します。
防災教育		災害時における合同引き取り訓練の実施を進め小中ブロック・地域との連携を強化し、地域で一体となった防災活動を展開します。地域と生徒が協働する機会を多く作り、生徒一人ひとりの、地域の一員としての意識を高めます。
自分づくり教育		SDGsを柱とした『廃油回収プロジェクト』の取組をきっかけとして、誰もが主体的に社会に貢献できる活動を実施します。地域と一体となって活動することによって地域の一員としての意識を高め、自己有用感を高める支援をします。
人材育成・ 組織運営(働き方)		ベテランが支えながら若手教員に経験を積ませ、組織全体で支える形のOJTを実践します。また日頃の活動の中で生きたOJTを展開します。働き方改革についてのプロジェクトチームを継続し、庶務事務システムを活用し、職員のタイムマネジメントの意識定着を推進します。。
		a25
担当		
担当		
担当		